2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名	株式会社サガミホールディングス	上場取引所	東・名
コ ー ド 番 号	9900	URL	https://www.sagami-holdings.co.jp
代　　表　　者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）	大西　尚真
問合せ先責任者	（役職名）取締役執行役員 管理担当	（氏名）	中島　康文　(TEL) 052-737-6000
半期報告書提出予定日	2026年11月12日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	20,524	4.7	1,490	△19.3	1,548	△17.4	1,045	△12.0
2026年３月期中間期	19,586	14.1	1,849	44.1	1,875	43.3	1,188	20.0

（注）包括利益　2027年３月期中間期　1,477百万円（　19.4%）　2026年３月期中間期　1,236百万円（　31.7%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	17.35	―
2026年３月期中間期	19.72	―

（注）１.潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
２.当社は、2026年８月31日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「１株当たり中間純利益」を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	26,925	20,772	77.1
2026年３月期	27,123	19,659	72.4

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期　20,772百万円　　2026年３月期　19,659百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	12.00	12.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	6.00	6.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無
当社は、2026年８月31日を効力発生日として、普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。
株式分割を考慮しない場合の2027年３月期（予想）の期末配当金は12円であります

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,600	3.1	2,500	△16.0	2,550	△16.2	1,450	△10.4	24.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無
当社は、2026年８月31日を効力発生日として、普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。
2027年３月期の連結業績予想における１株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。
なお、当該株式分割を考慮しない場合の通期の１株当たり当期純利益は48円13銭となります。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　―社（社名）―　　、除外　　―社（社名）―

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	60,603,568株	2026年３月期	60,603,568株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	36,882株	2026年３月期	36,572株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	60,249,007株	2026年３月期中間期	60,241,456株

（注）１.「株式給付信託（BBT）」制度に関する株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が所有する自社の株式は、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりますが、上記自己株式に含まれておりません。

２.当社は、2026年８月31日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第２四半期（中間期）決算短信【添付資料】４ページ「１．（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 10

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2026年４月１日から2026年９月30日）におけるわが国経済は、所得・雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移したものの、継続的な物価上昇に伴い、個人消費は慎重な動きが続いております。また、為替相場の変動や、日本銀行の金融政策を巡る動向に加え、地政学的リスクなど、先行きは依然として不透明な状況にあります。

外食産業におきましては、価格改定に伴う客単価の上昇などを背景に、売上高は確保したものの、物価上昇を背景とした生活防衛意識の高まりにより、消費者の節約志向や選別志向が一層強まったことに加え、度重なる台風の接近や局地的な大雨などの天候不順も影響し、客数が伸び悩む状況となりました。これに加え、原材料・エネルギー価格の変動、継続的な人件費・物流費の上昇によるコスト負担増を背景に、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは外食の基本的価値である「おいしさ・おもてなしの向上」及び、こころとからだの健康を目指した「食による提供価値の追求」に向けて取り組んでおります。また、提供価値を創り出す人材の「物心両面のゆたかさ」の実現によって、従業員の「生きがい」と「やりがい」を創出し、お客様への提供価値、及び企業価値の向上を目指してまいります。

当中間連結会計期間においては、７店舗の新規出店に加え、人財の定着・確保、ワークライフバランス実現を目的として、給与及び新卒初任給の引き上げ、全店休業日の設定、４日間以上の連続休暇の年間３回取得の推進に取り組みました。

各事業部門の概況は次のとおりであります。

（各事業部門）

① 和食麺処サガミ部門

和食麺処サガミ部門では、以下の販売促進企画を実施いたしました。

実施月	販売促進企画
４月	ゴールデンウィーク割引券配布企画
５月	天然活〆真あなごと九州産真鯵フェア 母の日メニュー
６月	父の日感謝週間
７月	厚切り牛たんと仙台味めぐりフェア 和食麺処サガミ夏の感謝祭＆割引券配布企画
８月	北海道と北のめぐみフェア
９月	お月見メニュー 敬老の日感謝週間＆割引券配布企画

その他Instagram、Xの公式SNSや公式アプリにてキャンペーンの情報配信も継続的に行いました。

これらの施策により、既存店売上高は前年同一期間に対して1.2%増、既存店客数は前年同一期間に対して0.1%増、客単価は前年同一期間に対して1.1%増となりました。

店舗関係では、和食麺処サガミ業態として、「守山吉根店」、「尼崎医療センター前店」（５月）、「生駒上町店」、「高崎矢中店」（７月）、「新城杉山店」（８月）を出店いたしました。その一方で、契約期間満了により「滋賀守山店」（５月）を閉鎖いたしました。

当中間連結会計期間末での店舗数は170店舗であります。

② 味の民芸部門

味の民芸部門では、以下の販売促進企画を実施いたしました。

実施月	販売促進企画
４月	本まぐろフェア 春の土用の丑フェア
５月	あなご三昧フェア 母の日フェア 手延べうどん食べ放題企画
６月	父の日フェア＆割引券配布企画
７月	牛たんフェア 民芸　ほろ酔い祭り
８月	北海道フェア
９月	シルバーウィークフェア＆割引券配布企画 手延べうどん食べ放題企画第２弾

当中間連結会計期間末での店舗数はFC店舗を含み50店舗であります。

③ どんどん庵部門

どんどん庵部門では、以下の販売促進企画を実施いたしました。

実施月	販売促進企画
４月	桜えびフェア
５月	あなご天おろしきしめんメニュー
６月	どんどん祭＆同企画値引券配布
７月	冷やし坦々きしめんメニュー
８月	ねばとろフェア

店舗関係では、「どんどん庵　神の倉店」（４月）、「どんどん庵　名和店」（７月）を閉鎖いたしました。

当中間連結会計期間末での店舗数はFC店舗を含み26店舗であります。

④ その他の部門

セルフそば業態「十割そば二代目長助」では、以下の販売促進企画を実施いたしました。

実施月	販売促進企画
４月	桜えびフェア
５月	あさりフェア
７月	辛味大根フェア 大暑のそば大盛り祭 夏休み先取り企画
８月	ねばとろフェア
９月	お月見そばメニュー 残暑の十割そば祭

国内店舗関係では、「十割そば二代目長助江南店」（７月）を出店いたしました。その一方で、「十割そば二代目長助豊田若林店」（４月）、「水山　港南台バーズ店」（７月）を閉鎖いたしました。

海外店舗関係では、「SAGAMI　パレルモ店」（８月）を出店いたしました。その一方で、「SAGAMI　レッジョエミリア店」（５月）、「水山　ロッテマートゴーバップ店」（６月）、「水山　ホーチミン高島屋店」（８月）、「SAGAMI　ベリンザーゴ・ロンバルド店」（９月）を閉鎖いたしました。

当中間連結会計期間末での店舗数はFC店舗を含み、国内19店舗、海外７店舗の合計26店舗であります。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は20,524百万円、営業利益は1,490百万円、経常利益は1,548百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は1,045百万円となり、当中間連結会計期間末のグループ店舗数は272店舗であります。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比197百万円減少し26,925百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末比2,093百万円減少し6,580百万円、固定資産は1,895百万円増加し20,345百万円、流動負債は前連結会計年度末比1,467百万円減少し4,643百万円、固定負債は155百万円増加し1,509百万円、純資産は1,113百万円増加し20,772百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年11月２日に発表した連結業績予想から修正はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,726,710	3,774,986
売掛金	1,463,860	1,364,523
商品及び製品	286,011	273,828
原材料及び貯蔵品	737,844	761,149
その他	459,624	406,198
流動資産合計	8,674,051	6,580,685
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,497,737	6,176,354
機械装置及び運搬具（純額）	1,131,728	1,212,100
土地	6,513,714	6,520,377
その他（純額）	464,129	1,011,969
有形固定資産合計	13,607,309	14,920,802
無形固定資産		
その他	91,982	112,324
無形固定資産合計	91,982	112,324
投資その他の資産		
投資有価証券	1,499,780	2,156,820
長期貸付金	38,768	36,997
差入保証金	1,487,705	1,503,587
長期預金	1,350,000	1,350,000
繰延税金資産	330,652	219,183
その他	43,065	45,372
投資その他の資産合計	4,749,972	5,311,961
固定資産合計	18,449,265	20,345,088
資産合計	27,123,316	26,925,773

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,088,898	931,948
1年内返済予定の長期借入金	527,408	307,892
未払金	2,538,130	2,145,678
未払法人税等	936,670	371,769
契約負債	40,844	34,320
賞与引当金	455,161	322,936
店舗閉鎖損失引当金	4,088	－
その他	519,028	528,652
流動負債合計	6,110,229	4,643,198
固定負債		
長期借入金	75,712	－
長期未払金	130,515	125,532
災害損失引当金	26,400	19,800
株式給付引当金	199,858	220,598
資産除去債務	658,795	655,814
長期預り保証金	67,589	70,437
繰延税金負債	192,183	413,979
その他	2,821	3,465
固定負債合計	1,353,875	1,509,626
負債合計	7,464,105	6,152,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,090,653	9,090,653
資本剰余金	6,192,923	6,192,923
利益剰余金	3,699,809	4,382,105
自己株式	△252,619	△252,804
株主資本合計	18,730,766	19,412,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	924,518	1,374,587
為替換算調整勘定	3,926	△14,517
その他の包括利益累計額合計	928,444	1,360,070
純資産合計	19,659,211	20,772,947
負債純資産合計	27,123,316	26,925,773

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	19,586,328	20,524,524
売上原価	6,127,084	6,368,018
売上総利益	13,459,243	14,156,505
販売費及び一般管理費	11,610,234	12,665,743
営業利益	1,849,008	1,490,762
営業外収益		
受取利息	4,314	4,156
受取配当金	15,666	20,781
受取保険金	897	21,119
リサイクル収入	6,711	8,429
雑収入	4,604	4,244
営業外収益合計	32,194	58,730
営業外費用		
支払利息	771	247
為替差損	4,509	166
雑損失	106	525
営業外費用合計	5,386	938
経常利益	1,875,815	1,548,554
特別利益		
固定資産売却益	209	621
受取補償金	－	37,595
特別利益合計	209	38,216
特別損失		
固定資産売却損	－	1,947
固定資産除却損	10,185	8,214
減損損失	179,880	76,107
特別損失合計	190,065	86,269
税金等調整前中間純利益	1,685,959	1,500,501
法人税、住民税及び事業税	500,797	329,111
法人税等調整額	△3,204	125,692
法人税等合計	497,592	454,803
中間純利益	1,188,366	1,045,697
親会社株主に帰属する中間純利益	1,188,366	1,045,697

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	1,188,366	1,045,697
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,484	450,069
為替換算調整勘定	△11,514	△18,444
その他の包括利益合計	47,970	431,625
中間包括利益	1,236,337	1,477,323
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,236,337	1,477,323

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,685,959	1,500,501
減価償却費	428,829	516,113
減損損失	179,880	76,107
固定資産売却損益（△は益）	△209	1,326
為替差損益（△は益）	4,509	166
賞与引当金の増減額（△は減少）	△111,478	△132,224
災害損失引当金の増減額（△は減少）	△6,600	△6,600
株式給付引当金の増減額（△は減少）	17,738	20,740
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	－	△4,088
受取利息及び受取配当金	△19,981	△24,938
支払利息	771	247
固定資産除却損	10,185	8,214
売上債権の増減額（△は増加）	139,651	99,437
棚卸資産の増減額（△は増加）	△81,282	△11,083
仕入債務の増減額（△は減少）	△72,048	△157,056
未払金の増減額（△は減少）	△164,120	△186,878
契約負債の増減額（△は減少）	△12,450	△6,524
その他	△67,899	△124,251
小計	1,931,454	1,569,209
利息及び配当金の受取額	19,770	24,801
利息の支払額	△771	△247
法人税等の支払額	△182,509	△895,692
法人税等の還付額	25,899	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,793,843	698,071
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,640,052	△1,948,887
有形固定資産の売却による収入	－	7,266
差入保証金の差入による支出	△31,448	△36,343
差入保証金の回収による収入	8,701	20,639
その他	△1,124	△39,014
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,663,923	△1,996,339
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△369,502	△295,228
自己株式の取得による支出	△146	△185
配当金の支払額	△301,425	△361,806
リース債務の返済による支出	△2,639	△1,959
財務活動によるキャッシュ・フロー	△673,712	△659,179
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,209	5,723
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△557,001	△1,951,724
現金及び現金同等物の期首残高	6,335,572	5,076,710
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,778,570	3,124,986

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

当社グループの報告セグメントは、「外食事業」のみであり、その他の事業セグメントは重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

当社グループの報告セグメントは、「外食事業」のみであり、その他の事業セグメントは重要性が乏しいため、記載を省略しております。